



日本精密株式会社

第34期  
報告書

BUSINESS REPORT

平成23年4月1日から  
平成24年3月31日まで



証券コード：7771

## 経営理念

# 夢を持って、美を求め、 形にする。

私たち日本精密は「夢・美・形」の追求によって、はじめて輝く明日がやって来ると信じています。「実現できると信じる心」が、企業の継続と社員の幸せ、そして社会への貢献を実現する原動力となります。



## ごあいさつ

# 日本の“ものづくり技術”を世界へ。



代表取締役社長

岡林 博

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、「日本の“ものづくり技術”を世界へ。」をモットーに、1978年の創業以来、腕時計バンドの製造をメインにメガネフレーム等、精密部品加工業として業務を拡大してまいりました。1991年以降、荒波のように変化する世界の経済状況に応じて常に業務革新を行い、主力製品である時計バンドの低価格化、マスコプロダクト製品などの海外生産化を実現し、世界市場で勝てるコスト競争力に対応しております。

当社の『人材力』は、6つのチカラ「提案力・開発力・コスト力・技術力・品質力・管理力」をベースに国内一流企業や海外メーカーの高いニーズに応じております。

私たちメーカーの責任としてデザイン、ファッション、トレンドを常にキャッチアップし、絶えず斬新な発想で「高付加価値製品」を開発・提案・提供することで社会に貢献していける企業であるように社員一丸で臨みます。

さて、当社の第34期報告書（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）をお届けするにあたり、ご挨拶をかね、ここに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

平成24年6月

## 連結業績の概要

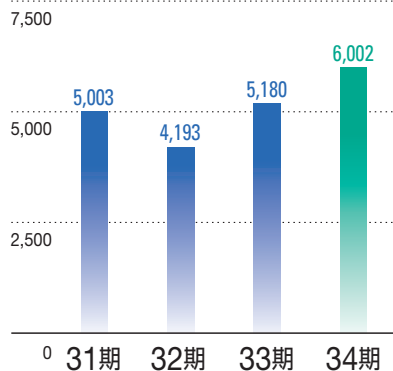
当連結会計年度における我が国経済は、東日本大震災からの復旧が進み、国内景気も緩やかながら回復基調にありました。しかしながら、円相場の高止まりと欧州の信用不安、原油価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、生産拠点をASEANエリアに有するという、コスト競争力を活かした営業活動のさらなる強化とともに、生産体制の再構築による高品質な製品

の安定供給の実現を推し進めてまいりました。その結果、当連結会計年度の業績は、連結売上高6,002,686千円(前年同期は5,180,131千円)となりました。損益につきましては、売上総利益は1,762,971千円(前年同期は1,452,779千円)、営業利益は334,122千円(前年同期は207,147千円)、経常利益は295,014千円(前年同期は156,620千円)、当期純利益は296,109千円(前年同期は172,467千円)となりました。

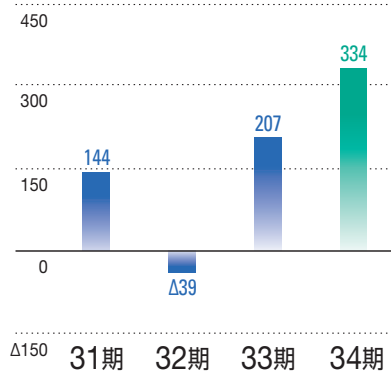
### 売上高

(単位：百万円)



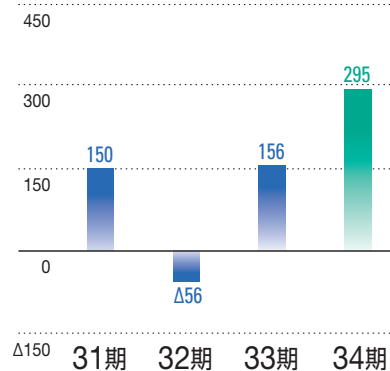
### 営業利益

(単位：百万円)



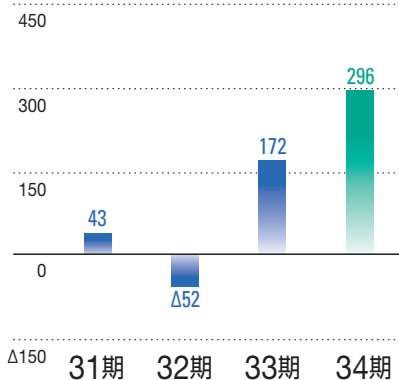
### 経常利益

(単位：百万円)



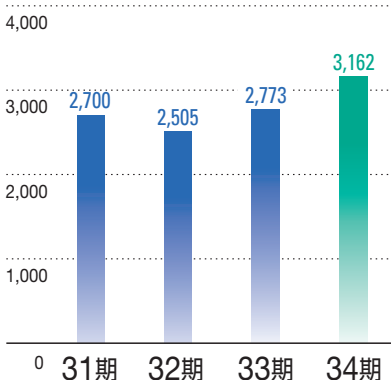
### 当期純利益

(単位：百万円)



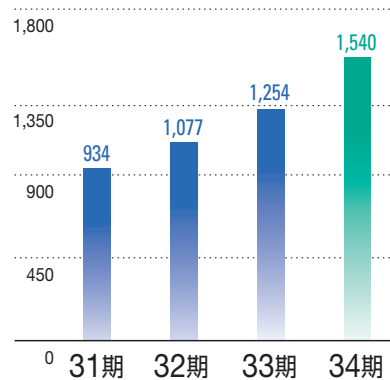
### 総資産

(単位：百万円)



### 純資産

(単位：百万円)



## セグメント別事業の概況

### 時計バンド事業



売上高構成比

61.1%

**売上高**  
36億64百万円  
(前年同期:29億83百万円)

**セグメント利益**  
2億66百万円  
(前年同期:87百万円)

### 営業の概況

時計バンド事業の売上高は3,664,808千円となり、前年同期比681,370千円増加しました。このうち、国内大手メーカーへの売上は、同社の海外売上の増強計画にともなう増産と、当社グループの総合力を引き続き評価されたことによる受注増加に加え、大型案件の売上高計上などにより336,038千円の増加となりました。また、スイスの高級時計メーカーへの売上は、受注回復と生産性向上による受注拡大などにより332,542千円の増加となりました。これによりセグメント利益は、266,346千円（前年同期はセグメント利益87,098千円）となりました。

### メガネフレーム事業



売上高構成比

32.9%

**売上高**  
19億77百万円  
(前年同期:18億30百万円)

**セグメント利益**  
21百万円  
(前年同期:73百万円)

### 営業の概況

メガネフレーム事業の売上高は1,977,776千円となり、前年同期比147,678千円増加しました。このうち、株式会社村井は、新ブランドの投入、中規模チェーン店向けの営業強化と大規模チェーン店向けひも付き営業の注力などにより109,481千円の増加となりました。また、当社のメガネフレーム部門は、ヨーロッパの高級ブランド品の受注増加などにより38,196千円の増加となりました。しかしながらセグメント利益は、急激な円高と販売価格の下落により21,807千円（前年同期はセグメント利益73,674千円）となりました。

### その他事業



売上高構成比

6.0%

**売上高**  
3億60百万円  
(前年同期:3億66百万円)

**セグメント利益**  
10百万円  
(前年同期:3百万円)

### 営業の概況

その他事業の売上高は360,101千円となり、前年同期比6,494千円減少しました。静電気除去器の販売は好調に推移しましたが、釣具部品の売上が減少しました。これによりセグメント利益は、10,165千円（前年同期はセグメント利益3,448千円）となりました。

## 今後の課題

### 対処すべき課題



時計バンド事業は、国内大手メーカーにつきましては、同社の事業拡大に対応するため、とくに時計バンド等金属加工分野に精通した技術者の確保と香港支店を通じた派遣を行い、中国の協力企業の育成、新製品の円滑な立ち上げ、量産品質と納期の確保、また新製品情報・生産情報の共有を図りながら当社と当該協力工場及び得意先との密接な協力関係を維持していく必要があります。海外大手高級品メーカーにつきましては、引き続き新素材、新構造の高付加価値品の提案営業により受注の維持、利益の拡大を図る必要があります。また、海外市場の売上拡大のため、海外の新規取引先開拓を推進する必要があります。

### 対処すべき課題



メガネフレーム事業は、株式会社村井では、積極的な製品開発と新規ライセンスブランド取得により、主力商品への育成を図ることで、売上拡大とリスク分散を行う必要があります。当社のメガネフレーム部門は、新しいビジネスモデルの拡大とともに、利益率を重視した営業活動を強化し、国内市場のニーズに合わせた製品開発と大手チェーン店への販売を拡大することで収益を拡大する必要があります。また、NISSEY VIETNAM CO.,LTD.では、デザイナーと新構造考案等開発部門の人材等の育成、製品開発力の向上、製品開発期間の短縮、生産技術力の向上、操業度の向上等による大幅な製造コストの引き下げなどにより、生産及び利益の拡大と品質確保の両立を図る必要があります。

### 対処すべき課題



その他事業は、営業力の強化により静電気除去器に加え釣具部品の新製品拡充を図り、得意先に密着した開発と生産に徹する必要があります。

## 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

|              | 当期末<br>平成24年3月31日現在 | 前期末<br>平成23年3月31日現在 |
|--------------|---------------------|---------------------|
| <b>資産の部</b>  |                     |                     |
| 流動資産         | 2,283,796           | 1,896,870           |
| 固定資産         | 878,853             | 877,092             |
| 有形固定資産       | 641,703             | 604,251             |
| 無形固定資産       | 167,695             | 174,844             |
| 投資その他の資産     | 69,453              | 97,997              |
| 資産合計         | 3,162,649           | 2,773,963           |
| <b>負債の部</b>  |                     |                     |
| 流動負債         | 1,268,571           | 1,117,993           |
| 固定負債         | 353,162             | 401,331             |
| 負債合計         | 1,621,733           | 1,519,324           |
| <b>純資産の部</b> |                     |                     |
| 株主資本         | 1,532,604           | 1,236,505           |
| 資本金          | 1,565,875           | 1,565,875           |
| 資本剰余金        | 1,548,980           | 1,548,980           |
| 利益剰余金        | △1,541,960          | △1,838,069          |
| 自己株式         | △40,291             | △40,280             |
| その他の包括利益累計額  | △6,688              | 3,133               |
| その他有価証券評価差額金 | △5,836              | 3,985               |
| 為替換算調整勘定     | △851                | △851                |
| 新株予約権        | 15,000              | 15,000              |
| 純資産合計        | 1,540,915           | 1,254,639           |
| 負債純資産合計      | 3,162,649           | 2,773,963           |

## 連結損益計算書

(単位：千円)

|                | 当期<br>平成23年4月1日から<br>平成24年3月31日まで | 前期<br>平成22年4月1日から<br>平成23年3月31日まで |
|----------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 売上高            | 6,002,686                         | 5,180,131                         |
| 売上原価           | 4,239,715                         | 3,727,352                         |
| 売上総利益          | 1,762,971                         | 1,452,779                         |
| 販売費及び一般管理費     | 1,428,848                         | 1,245,631                         |
| 営業利益           | 334,122                           | 207,147                           |
| 営業外収益          | 16,617                            | 13,887                            |
| 営業外費用          | 55,725                            | 64,414                            |
| 経常利益           | 295,014                           | 156,620                           |
| 特別利益           | 6,111                             | 30,013                            |
| 特別損失           | —                                 | 9,585                             |
| 税金等調整前当期純利益    | 301,126                           | 177,048                           |
| 法人税等           | 5,017                             | 4,581                             |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 296,109                           | 172,467                           |
| 当期純利益          | 296,109                           | 172,467                           |

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

|                     | 当期<br>平成23年4月1日から<br>平成24年3月31日まで | 前期<br>平成22年4月1日から<br>平成23年3月31日まで |
|---------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー    | 290,670                           | 406,200                           |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー    | △275,498                          | △115,206                          |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー    | 200,817                           | △200,761                          |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額    | △17,960                           | △24,281                           |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 198,029                           | 65,950                            |
| 現金及び現金同等物の期首残高      | 499,775                           | 433,825                           |
| 現金及び現金同等物の期末残高      | 697,805                           | 499,775                           |

## 会社概要／株式情報 (平成24年3月31日現在)

### 会社概要

|         |  |
|---------|--|
| 商号      | 日本精密株式会社   |
| 設立      | 昭和53年8月  |
| 本社      | 〒332-0012<br>埼玉県川口市本町4-1-8川口センタービル8階<br>TEL: 048-225-5311 FAX: 048-226-5356    |
| 資本金     | 1,565,875千円  |
| 従業員     | 59名(連結2,631名)  |
| 事業内容    | 時計バンドの製造、販売<br>メガネフレームの製造、販売<br>イオンプレーティング(表面処理加工)<br>釣具用部品、静電気除去器、その他製品の製造、販売 |
| 主要な関係会社 | NISSEY VIETNAM CO.,LTD.<br>株式会社村井<br>NS Murai Inc.                             |

### 役員 (平成24年6月21日現在)

|         |         |
|---------|---------|
| 代表取締役社長 | 岡 林 博   |
| 取締役     | 井 藤 秀 雄 |
| 常務執行役員  |         |
| 取締役     | 白 坂 敬 次 |
| 上席執行役員  |         |
| 取締役     | 金 民 秀 訓 |
| 取締役     | 権 經 昶   |
| 取締役     | 黄 仁 昶   |
| 取締役     | 権 昱     |
| 取締役     | 柳 南 圭   |
| 常勤監査役   | 中 嶋 春 樹 |
| 社外監査役   | 佐 藤 和 彦 |
| 社外監査役   | 河 津 博 史 |
| 上席執行役員  | 朴 成 鎮   |
| 上席執行役員  | 新 井 富 之 |
| 上席執行役員  | 上 林 一 男 |
| 執行役員    | 古 屋 野 裕 |
| 執行役員    | 山 田 幸 三 |
| 執行役員    | 守 屋 幸 三 |

### 株式の状況

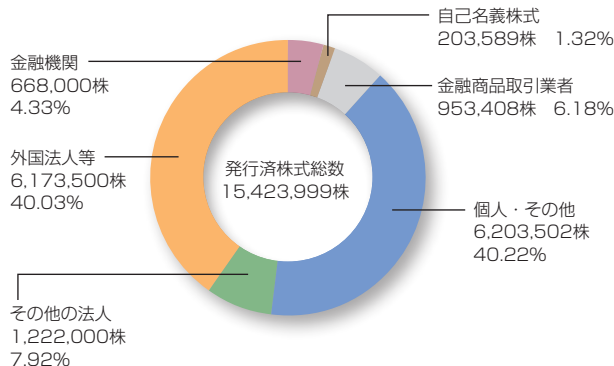
|          |                              |
|----------|------------------------------|
| 発行可能株式総数 | 39,000,000株                  |
| 発行済株式総数  | 15,220,410株(自己株式203,589株を除く) |
| 株主数      | 993名                         |

### 大株主

| 株主名  | 持株数(千株) | 出資比率(%) |
|--|---------|---------|
| 株式会社ジエンコ                                   | 3,000   | 19.71   |
| ピーアンドエフホールディングス株式会社                        | 2,500   | 16.43   |
| 南 榮 晟                                      | 1,190   | 7.82    |
| エスケーエストレーディングユー・エス・イー<br>インコーポレーテッド        | 1,000   | 6.57    |
| 大阪証券金融株式会社                                 | 550     | 3.61    |
| シービーホンコンコリアセキュリティーズ<br>デポジタリーディーイーダブリュオーオー | 314     | 2.06    |
| 日本精密社員持株会                                  | 267     | 1.75    |
| 岡三証券株式会社                                   | 239     | 1.57    |
| 金 昌 明                                      | 229     | 1.50    |
| シービーエイチケイコリアセキュリティーズ<br>デポジトリー             | 196     | 1.29    |

(注)当社は、自己株式203千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。  
また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

### 所有者別分布状況



# 株主メモ

|                           |  |
|---------------------------|--|
| 事業年度                      | 4月1日～翌年3月31日   |
| 期末配当金受領株主<br>確定日          | 3月31日  |
| 中間配当金受領株主<br>確定日          | 9月30日  |
| 定時株主総会                    | 毎年6月   |
| 株主名簿管理人および<br>特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社  |
| 同 連 絡 先                   | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号<br>Tel. 0120-232-711 (通話料無料)  |
| 上 場 証 券 取 引 所             | 大阪証券取引所 (JASDAQスタンダード)   |
| 公 告 の 方 法                 | 電子公告により行います。<br>公告掲載 URL <a href="http://www.nihon-s.co.jp/">http://www.nihon-s.co.jp/</a><br>(ただし、電子公告によることができない事故、その他の<br>やむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告<br>いたします。) |

(ご案内)

- 株式に関する住所変更等のお問合せおよびお届け出について  
株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。  
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座について  
特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金について  
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。